

特 殊 報

長崎県病虫害防除所長

令和5年度病虫害発生予察 特殊報第1号

- 1 害虫名 モモヒメヨコバイ
Singapora shinshana (Matsumura)
- 2 発生作物 ウメ、オウトウ
- 3 発生確認及び被害状況
令和5年8月、佐世保市の露地栽培小規模園において、ウメに葉の白化症状が認められ（写真1）、ヨコバイ類の寄生が確認された（写真2）。また、同一圃場内のオウトウ上でも同様の寄生が確認された。被害様相および当該虫の外観が他都府県で発生が認められているモモヒメヨコバイと類似していたことから、採集した成虫の同定を門司植物防疫所福岡支所伊万里出張所へ依頼したところ、モモヒメヨコバイと同定された。
- 4 国内の発生状況
沖縄県での分布が確認されていたが、令和元年に和歌山県で確認されて以降、計21都府県（九州では沖縄県、大分県、佐賀県、福岡県、熊本県）で発生が確認されている。本種は、国内ではウメ、モモ、スモモ、アンズ、オウトウ、ハナウメ、ハナモモ等のバラ科果樹を加害することが報告されている。
- 5 形態および被害等の特徴
 - (1) 形態
成虫の体長は3～3.5mmで成虫の体色は黄緑色、複眼は黒く、頭頂部中央に特徴的な黒点（写真3、4）がある。若齢幼虫は薄い黄色で、終齢幼虫になるにつれ成虫と同じ黄緑色になる。
 - (2) 被害の特徴
成虫と幼虫が葉面に寄生し、吸汁することで葉色が徐々に薄くなる。葉全体が吸汁されると白化する。なお、被害が見られる葉の裏側には幼虫の脱皮殻が付着していることが多い。被害が著しいと早期落葉することがある。
- 6 防除対策
 - (1) うめまたは小粒核果類ではモモヒメヨコバイに登録のある薬剤を使用する。なお、薬剤使用の際は、ラベルの記載事項をよく確認し、使用基準を遵守する。
 - (2) 耕種的防除として本種の発生・被害の早期発見に努め、確認された場合は速やかに寄生葉ごと除去し、圃場外へ持ち出し埋却するなどして適切に処分する。



写真1 葉（ウメ）の白化症状（全面）

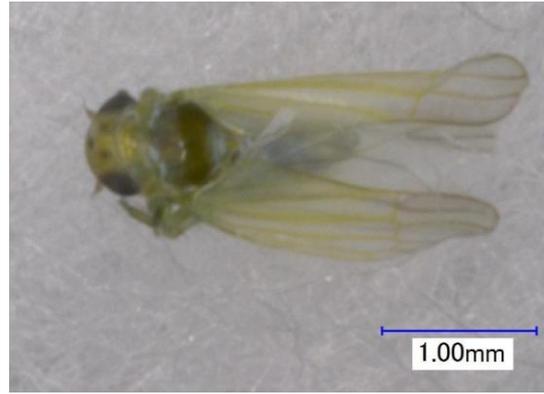


写真2 モモヒメヨコバイ成虫



写真3 頭頂部の黒点①



写真4 頭頂部の黒点②（正面）

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。
「長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室
(長崎県病害虫防除所) ホームページ」アドレス：<http://www.jpnpn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室
(長崎県病害虫防除所) TEL : 0957-26-0027

